

戦気

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです



5月27日 スーパーバンタム級・8R 上野康太・判定勝利!!

5月27日、WAJIMA Flaming Fight(No7)のセミファイナルに前回(1月25日)、日本スーパーバンタム級5位の塩谷悠選手に判定で惜敗した上野康太が登場した。康太の対戦相手は全日本パブリックジムの服部祐二選手:16戦7勝6敗3分であり、服部選手とは2度目の戦いである。

1ラウンドから8ラウンドまで淡々と進行し山場のない試合だった。対戦相手の服部選手は康太の戦績に対する警戒心から積極的に前に出ず康太も相手に合わせる形となったためお互い手数少ない試合だったが、康太のノーモーションで繰り出す右ストレートが度々服部選手の顔面にヒットし、左フック、左ボディも決まった。8ラウンド判定の結果、康太の3:0(79:76,79:75,79:74)の判定勝利。これで康太の戦績は12戦10勝1敗1分となった。

上野選手の感想

今日の試合は12試合目だったので落ち着いて相手の動きが見られた。ラウンドごとに考えながら戦った。途中相手を倒しに行ったが相手が反撃してきたので相手の出を見る戦いとなった。

三谷会長のコメント

今日の試合は全員勝つての4連勝は出来すぎだ。特に山本のKOには驚いた。彼はスタミナの使い方をうまくすればもっと伸びる選手だ。玄間も戦い方が変わりボディブローが決まった。よく頑張った。鬼ヶ島も昨年からは戦い方を変えたので、それが出ていた。康太は練習不足が試合内容に出ていた。相手の服部君が出てこないで康太が前に出て行ってKO勝ちにしなければいけない。特に7、8ラウンドはもっと前に出て打たなければ。結果は勝ったけれど以前に比べてパワーが落ちた。朝、走って練習をもっとしなければいけない。



後菜園ホール

第6回・三谷大和スポーツジム スパーリング大会(4/29)



第6回 三谷大和スポーツジム スパーリング大会で最優秀選手賞を受賞した3選手と三谷会長の記念スナップ。
 ・一般の部: 奈良楓也選手(伊豆)
 ・中学生の部: 東真也選手(三迫)
 ・小学生の部: 北川開於土選手(伊豆)

第65回 東日本新人王トーナメント戦

5月の東日本新人王トーナメント戦には三谷ジムから3選手が出場し3勝しました。

鬼ヶ島竜 判定勝利(5/27)

1ラウンドからバッティングが多い対戦相手に度々レフェリーは注意し2ラウンドに減点1を通告。2ラウンドに鬼ヶ島の左アッパー、右フックが当たる。各ラウンド一進一退の攻防の結果、3:0(38:37,38:37,39:37)で鬼ヶ島の判定勝利。

玄間晃裕 判定勝利(5/27)

1ラウンドから4ラウンドまで両者打ち合いの連続。玄間は相手のボディ攻撃を度々もらうが右フックで応戦。判定の結果、玄間の3:0(39:38,39:38,39:37)の判定勝利。

山本直平 KO勝利(5/27)

1ラウンドから山本の重い左ボディが度々決まる。2ラウンドでは左ボディ、右アッパーで2ノックダウン。0分56秒で見事なKO勝ちを収めた。対戦相手は意識が朦朧として暫く立ち上げられなかった。

スケジュール

- 6月03日 大塚メロン貴光、加藤健太 新人王2回戦
- 7月02日 鬼ヶ島竜、玄間晃裕、山本直平 新人王2回戦
- 7月14日 福本雄基 第8戦
- 8月05日 岩井大 新人王3回戦

編集後記

ボクシングは倒すか倒されるかの究極のスポーツですが、選手にとっては【ボクシング】というスポーツをとおり、周りの人たちに支えられながら一人ひとりが人間形成のステップを一段一段と上がっていく過程だと思えます。いつも心にフェアプレー精神を。

シリーズ: 選手紹介

profile

鬼ヶ島竜(20歳)

生年月日: 1988年2月8日
 出身地: 香川県高松市女木島出身
 階級: ミニマム級
 戦歴: 6戦: 4勝2敗

アマ戦績・・・17戦13勝(11KO)
 2006年04月、三谷大和ジムへ入門
 2006年09月、プロデビュー初勝利

好きな言葉: 勝つのは偶然じゃなく必然
 好きな選手: 三谷大和会長
 自分の目標: 全日本新人王になること!



ごんごちゃんは見た!!



4月29日、恒例の『第6回・三谷大和スポーツジム スパーリング大会』が19ジム参加で開催され、一般、オヤジ、女子、中学生、小学生の5部門に別れ54試合が戦われました。昼休み時間には、東日本U-15大会(予選準決勝戦)も行われ、午前10時から午後5時50分まで熱い戦いが展開されました。元世界チャンプのセレス小林さんや飯田覚土さんも参加。QさまTVの撮影も行われ大変盛り上がった大会でした。